

音モダチ・プロジェクト 被災地応援活動

2014/4/2-6

今回は岩手県陸前高田、大船渡、宮城県気仙沼、東松島にて演奏活動を行いました。

訪問初めの活動は陸前高田です。前日発生したチリ沖地震の影響で一日津波注意報が出ており、18時の解除になるまで頻繁にサイレンが鳴っていました。

大船渡で何度かライブを行わせて頂いたジャズ喫茶 hイマジンのマスターが陸前高田に作られた宿泊施設にお邪魔させていただきました。

そのすぐ裏には急な階段があり、そちらマスターは登り津波から逃げるのができ、高田の街が波に襲われるのを見ていた、という話を伺いました。

高田は盛り土作業が進み、巨大なベルトコンベアができていました。一日で4000台ものダンプが運べるほどだそうです。一本松はその間近にありあまりよく見えなくなっていました。町の様相は変わろうとしつつあります。しかし、まだ解体もされていない建物もありました。

コンサートは今回で4回目の訪問となったモビリア仮設にて。お馴染みのお顔も沢山あり、住民の皆さんも我々のことを覚えてくださり、楽しみにして来られた、と嬉しいお言葉もいただきました。また遠方からも聴きにいらしてくださった方もおられ嬉しい出会いもありました。短いひとときではありましたが音楽を通して想いをお伝えし、寄り添うことができたように感じます。

作詞募集にご応募下さった方にもお目にかかる事ができました。高田では多くの方から様々な想いや、これからにも繋がるであろうお話も伺うこともできました。



陸前高田の町は丸太と盛り土ばかりです



マスターと宿泊施設の「レインボーサライ」

翌日は大船渡、陸前高田の二カ所での活動です。午前中の大船渡の永沢仮設は三度目、午後の東部デイサービスは四度目の訪問です。何度もお顔を拝見したことのある方にもお会いできました。少しずつ状況も変わりつつあり、仮設を近々出ることになったという話を聞いたり、住宅地になるための工事がいたるところで始まっていました。こちらでも作詞募集のメッセージもお預かりさせていただきました。

震災では失ったものばかりでなく、沢山の人たちの好意や出逢いができたことに感謝している、とおっしゃっていたことが印象的でした。

東部デイでは昨年「津波のこと」を作詞下さった戸羽サヨ子さんにもお目にかかる事ができました。ご利用者のみなさまにも大変喜んでいただけたようでした。また皆さまのお元気なお顔にお目にかかれますように・・・



大船渡 永沢仮設の皆さまと。



東部デイサービスセンターの皆さまと。

気仙沼は寒く突然雪もちらついてくる一日でした。気仙沼マザーズホームさんにて演奏させていただきました。マザーズホームさんは障害のある子どもたちの学童クラブなどを行っています。震災時には皆さんで避難をし、大変な思いを救助され、建物も全壊、一年半前に新しい場所にはじめられました。この日は新年度の始まりの会があり、その後にコンサートを行いました。

お母様方にもお聴きいただきました。子どもたちが楽しんで演奏を聴いている様子にお母様方も先生方も驚かれたとおっしゃられていました。

生活環境も一変してしまい、子どもたちも親御さんたちも戸惑うことが多く心のケアがとても重要だとお話いただきました。

演奏後にはすぐ近くにあるリアスアーク美術館へ行きました。「東日本大震災の記録と津波の災害史」という展示がありました。災害の記録を学芸員の方々が撮影し、収集された被災物などの資料を展示されていました。単に記録を残すのではなく、伝えるための意志と表現を示されています。依然として震災の只中にある、と書かれていました。

また現地に生きる人の視点、言葉で表現されており、現地の方々であるからこそできるものでありました。

～あとは祈るしかない、という表現をすることがあるが、もっともっとできることがあるのではないかと

～津波の歴史がある街に住む者としての自覚と責任をもち、義務がある こんな言葉が書かれてありました。

現地から離れると本当に過去のことと感じてしまう現状もありますが、まったくもって過去ではなく現在進行形なのだという事を痛切に感じました。

今回の最後の活動は東松島の介護施設すみちゃんの家にて行わせていただきました。昨年「海をこよなく愛した父」を作詞された新妻佳子さんのご縁でお伺いさせていただきました。ご利用者さんにご近所の方々にお集まり頂きコンサートを行いました。お礼にと、皆さんで「えんやーととえんやーとと 松島への」と斎太郎節を歌ってくださいました。とても喜んでいただけコンサート終了後は皆さん素敵な笑顔になられていました。

この5日間のうちに震度4の地震、津波注意報、記録的な大雨もあり、被災地にとって災害は大きな痛手であることも体感しました。

また最近になって被災し体験したことをやっと話せるようになった、という方がいらっしゃることにわかるように、まだまだ震災は続いているのです。被災地だけの問題ではなく、誰もが覚えていなければならないことです。

皆さまのお心に少しでも寄り添うことができるよう活動を続けていきます。



東松島：すみちゃんの家にて



4/3のモビリアでの様子が地元紙「東海新報」に掲載されました。(4/4)

<セットリスト>

4/3 モビリア仮設

どこかで春が
春の小川
ふるさとは今も変わらず
グループサウンズメドレー
懐メロヒットメドレー
サボテンの花
奇跡
空の青にとけて
奇跡の一本松の歌
終わりなき花の命

4/4 永沢仮設

どこかで春が
春の小川
ふるさとは今も変わらず
懐メロヒットメドレー
津波のこと
海をこよなく愛した父
奇跡
さくら咲きさくら散る

4/4 東部デイサービス

どこかで春が
春の小川
ふるさとは今も変わらず
懐メロヒットメドレー
津波のこと
海をこよなく愛した父
空の青にとけて
花は咲く
皮の流れのように
幸福になるための歌

4/5 マザーズホーム

世界でひとりの君と僕
どこかで春が
森のくまさん
アンパンマンメドレー
素晴らしい言葉
山の人気者
スタンダードジャズメドレー
サボテンの花
海をこよなく愛した父
奇跡
幸福になるための歌

4/6 すみちゃんの家

高原列車は行く
青葉城恋歌
北国の春
どこかで春が
春の小川
懐メロヒットメドレー
山の人気者
津波のこと
海をこよなく愛した父
花は咲く
川の流れのように
幸福になるための歌